

令和4年度下半期 水道事業・下水道事業の経営状況

(令和4年10月1日～5年3月31日)

水道事業・下水道事業は、複式簿記による公営企業会計で収支を管理しています。経営状況は、表1～3のとおりです。

なお、複式簿記とは、ひとつの取引引きを原因と結果の二面から記録する会計方法です。

水道事業

水道事業基本計画で定めた、「安全な水道」、「災害時にも頼れる水道」、「持続可能な水道」を目標に、前年度に引き続き、水質検査機器の買い換えや、管路網の耐震化を行うとともに、深層地下水流動調査を実施しました。

企業債については、新たな借入金はなく、令和3年度で完済したため償還金の支払いもありませんでした。

☆詳しくは、水道部業務課☎543-6111へ。

下水道事業

下水道の役割は、汚水の処理、雨水の処理、公共用水域の水質保全です。今後も下水道事業を安定的に継続していくため、下水道管の整備や耐震化工事などを実施しました。

企業債については、5690万円を借入れ、償還金5億331万円を支払いました。

☆詳しくは、下水道課へ。

表1 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

		4年度	3年度	前年度比
水道事業	給水人口	11万4278人	11万4067人	211人 (0.2%増)
	給水世帯	5万6422世帯	5万5976世帯	446世帯 (0.8%増)
	有収水量	606万6374m ³	613万6085m ³	△6万9711m ³ (1.1%減)
	配水量	630万2130m ³	635万6950m ³	△5万4820m ³ (0.9%減)
下水道事業	接続人口	11万3593人	11万3372人	221人 (0.2%増)
	接続世帯	5万6087世帯	5万5637世帯	450世帯 (0.8%増)
	有収水量	774万4989m ³	778万5673m ³	△4万684m ³ (0.5%減)

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

表2 企業債(借入金)の現在高

		5年3月末	4年3月末	前年度比
下水道事業	現在高(元金)	32億1169万円	38億9853万円	△6億8684万円 (17.6%減)
	接続人口1人当たり	2万8274円	3万4387円	△6113円 (17.8%減)

※企業債とは、施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。

表3 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	*営業収益 8億7209万円 水道料金による給水の収益 *営業外収益 8789万円 預金利息、下水道使用料 受託徴収収益など	*営業費用 11億4609万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など *営業外費用 17万円 雨水貯留槽設置助成金など	*負担金 965万円 工事経費のうち市や企業が負担する分など	*建設改良費 5億9927万円 水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	合計 9億5998万円	合計 11億4626万円	合計 965万円	合計 5億9927万円
下水道事業	*営業収益 10億4884万円 下水道使用料、雨水処理負担金など *営業外収益 5億5856万円 預金利息、一般会計補助金、国・都補助金、長期前受金戻入など	*営業費用 17億9499万円 下水道管などの維持費、汚水の処理負担金、減価償却費など *営業外費用 5083万円 企業債の借り入れ利息など	*企業債 5690万円 *他会計補助金 3億5622万円 一般会計補助金 *負担金 39万円 受益者負担金 *補助金 4967万円 国・都補助金	*建設改良費 3億9987万円 下水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用 *企業債償還金 5億331万円 企業債の元金 *投資その他資産 4万円 基金積立金
	合計 16億740万円	合計 18億4582万円	合計 4億6318万円	合計 9億322万円

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改良・設置のために必要な経費のことです。